

## 深南部、鶏冠山（2204m・北峰）～池口岳（2392m）周回

2014年6月15日(日) 晴れ

メンバー：L磯部S(記)、平川、三根

自然の濃い山域である深南部は、ちょっと冒険的なワクワク感もあり、また静かで人工的な匂いの少ないところが大好きである。

今回は、メンバーの希望もあり、体力的に手応えのあるコースということで、ロングコースを選択した。

予想所要時間は、12～14時間を想定。日が長いこの時期でないと無理である。前夜、兵越峠を越え、道の駅遠山郷で仮眠した。

5時前には歩き出し、池口川の河原を上流に向かう。2段堰堤を右岸のハシゴで越え、直に左岸に小さな白い看板、シャクナゲ沢コースの取り付きを見つけた。



堰堤の前と後で、2箇所軽い渡渉があった





左岸に小さな白い看板・・・シャクナゲ沢コースの入口

鶏冠山への犬切尾根に向かうこの支尾根の直登は、踏み跡も薄く角度もあるため歩きづらいが、テープはしっかり付いていたためルートに迷うことはなかった。途中シャクナゲ沢を横切り左の支尾根に移動し、尾根らしくなっていく。やがて犬切尾根に乗り左折、この分岐には道標があった。下りに使う場合は難しいコースだ。

取り付きからずっとヤブ、下層植物は少なく、展望は効かないが明るくわかりやすい尾根だ。深南部らしいのは倒木、苔むした地表が多く見られるところか。





広い犬切尾根・・・歩きやすい

斜度も緩く、静かに自然林の中を歩くのは気持ちいいが、いかんせん長い。  
歩きに歩き、鶏冠山直下になって少しヤブっぽくなってきたところ適当に上を目指している内に頂上に着いた。  
やはり、このコースを下りに使うのは経験がいる。





鶏冠山・・・やっと着いた

頂上から池口岳に向かって斜面を下る方角は、コンパス頼りだ。道無く広い斜面で、池口岳方角を意識しすぎると沢筋に下ってしまう。

池口岳を右に見て降りれば尾根に出会い、右に進めば一面膝下丈の笹平だ。

深南部らしい景色の中では、珍しい広々とした世界で別天地である。こんな所で一晩過ごしたいものだ。





笹平・・・先までずっと続くが、平坦ではない

笹はしばらく続き、奥へ行った右手間近の沢には水が勢いよく流れていた。沢筋にはわずかだが雪渓も残っていて、やはり絶好のテント場である。やがてグンと登って池口岳南峰のすぐ北の分岐に出た。ここからは道がしっかりしている。南峰を踏み、北峰に向かうやや細い尾根をやり過ぎて待望の頂上だ。既に出発から9時間たった。



かっこいいピラミダルな池口岳北峰





真ん中の池口川をはさんで、左の犬切尾根を登り、周って右の池口尾根を下る



自然林の中の池口岳南峰・・濃い自然が気持ちいい

ここからは景色こそ深南部っぽい、道は一般道である。疲れた体にムチ打って、長い下りに取りかかった。  
光岳に向かう尾根から左に分かれ、池口尾根を下るが、樹林帯の中同じような光景が続き変化がない。  
なおかつここ下りルートだろう?! とぼやきたいくらい緩く長い登りも出てきて閉口する。  
足もだるく熱を帯びてきて、帰ったらストック買うぞー! と心で決めた。





イワカガミ・・・たくさん咲いていました





下りの池口尾根・・・結局一日だれにも合わず

長い長い下りの末、池口岳登山口林道に到達。18時を過ぎててもまだ明るいのは助かった。今回14時間強かかったが、実質12時間くらいか。というのも、鶏冠山辺りでメンバーの足に違和感を感じ、この最奥の地点で足に問題が出たらエスケープもできず、即ビバークである。そこからは「日暮れまでに確実に下山する。」という方針に変更、ゆっくり休みを増やしたためである。

山行以外の注意点だが、行き帰りの兵越峠前後でシカに遭遇した。特に帰りはいきなり車の直前に現れ、もう少しで殺生するところだった。夜の山道はゆっくり走りましょう。

<タイム> 池口川左岸道路脇P (4:45) - シャクナゲ沢コース入口 (5:10) - 犬切尾根分岐 (7:25) - 鶏冠山 (11:00) - 池口岳北峰 (14:00) - ザラナギ平 (15:30) - 池口岳登山口 (18:25) - 池口川左岸道路脇P (19:15)

以上